

# まめなかの

発行責任者  
隠岐広域連立  
隠岐病院長  
西郷町城北町355



方もします。これは「歯垢を制御する」という意味で、歯垢を取り除くことが

## 歯周病を中心に

歯科医長 金月 章



歯科は歯、口、あごの病気を対象とする診療科です。発症頻度の高い、う蝕(むし歯)、歯周病、歯の欠損症の他、先天異常、外傷、炎症、のう胞、良性・悪性腫瘍、顎関節疾患、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患など病気の種類は意外と多いですが、今回は近年、高い率で老若問わず罹患しているといわれる歯周病についてお話しします。

歯周病は、歯肉(IIはぐき)、歯根膜、歯槽骨といった歯の支えとなる周囲の組織(歯周組織)の炎症で、その範囲により、歯肉に限局した歯肉炎と歯肉から歯根膜や歯槽骨に及ぶ歯周炎に分類されます。主たる原因は、食物のかすなどに細菌が繁殖し

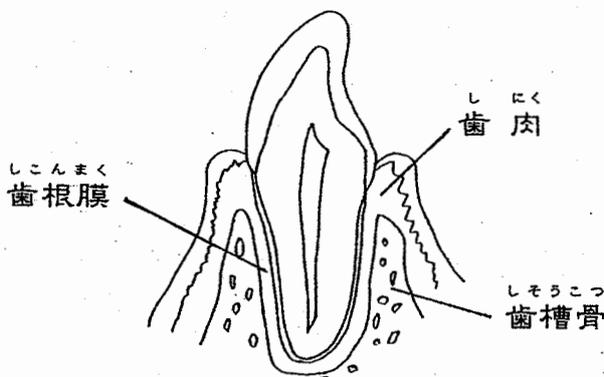
て歯に付着する歯垢(IIプラーク)です。歯垢中で増殖した細菌が出す有害物質により、組織の炎症が引き起こされます。また、歯垢は歯石に変化して歯に沈着し、周囲を刺激したり、さらなる歯垢の付着を助長して、炎症が憎悪するといった悪循環が起きます。歯周病には自覚症状がほとんどなく、静かに進行する特徴があります。歯の動揺などの症状が出現したときは、歯周炎が進行した状態であるといえ、最後は歯の喪失に至ります。

歯、口、あごには食物を摂取する役割があり消化の初期段階を担います。「たかが歯」と考



歯磨きの第一義であることを示しており、その効果の大部分は歯磨剤の薬効などよりも、器具(歯ブラシなど)による物理的な手法に依存しています。いくら「歯磨き」という行為をしても、的確に歯垢が除去されなければ、本来の目的は果たされていません。よって最良のプラーク・コントロール方法の獲得が初めの第一歩となり、繁殖で面倒ながらもこれを継続することで歯周病の予防が成立します(口の中の衛生状態の向上は、う蝕、その他の疾患の予防にも同時に関与します)。また自己判断が難しいプラーク・コントロール方法の正否や実際の効果について、定期的な歯科受診で確認することが有益であるといえます。

歯の断面図 (歯周組織)



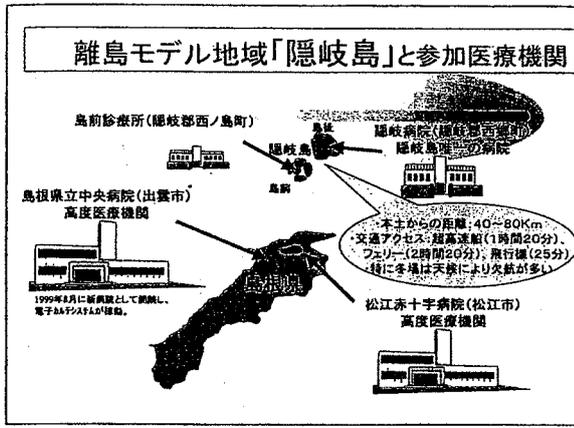
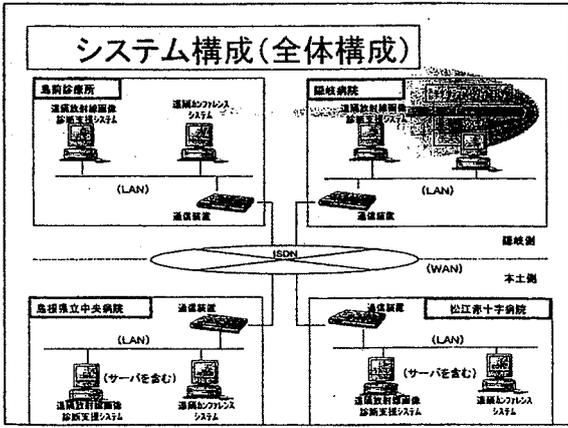
えがちですが、歯の不具合は消化器の入り口の障害であり、他所の病気とも無関係ではありません。このことから、口の中の管理を心掛け、できるだけ多くの自分の歯を、できるだけ長く健全に保つことは、長命が期待できるこれからの世の中では健康や、より高い生活の質の確保にとって、少なからず大切であることが理解していただけると思います。この機会に歯周病のみならず、歯、口、あごの健康に少しでも関心を持っていただければ幸いです。



# 画像伝送中

隠岐島における医療の質の向上（医療の地域間格差の解消）を図るため、また、本土側の高度医療機関と医療連携を行うための「隠岐島遠隔医療支援システム」が本年4月から本格稼働しています。システムは、隠岐病院・島前診療所・島根県立中央病院及び松江赤十字病院を電話回線を使ったコンピューターネットワークで結ぶことで構成されています（図）。その内容は①CT、MRIの画像を本土病院へ伝送する「遠隔放射線画像診断支援システム」②CT、MRI以外の医療データ（一般のレントゲン写真、創傷の写真、病歴や検査所見などの診療情報等）を伝送する「遠隔カンファレンスシステム」および③TV電話です。

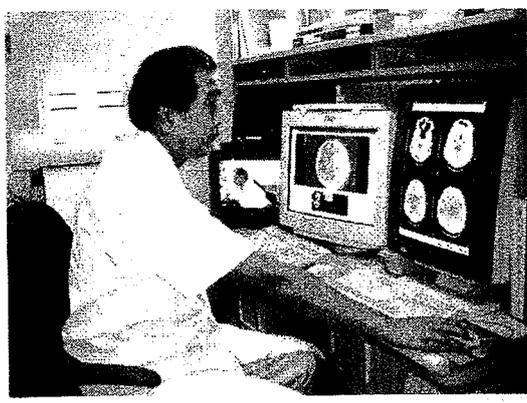
①は、撮影機器とコンピューターが直結されており高速に、且つ撮影病院での画像と全く同等の画像が本土側病院に電送できるため、画像診断の精度の向上が可能となっています。また、カンファレンスが可能なことにより、画像以外の診療情報が送



れ、診断の精度のさらなる向上及び隠岐側医師の研鑽にも寄与しています。

具体的には、緊急患者様や診断困難な患者様の伝送された画像を本土側病院の専門医がモニターで見ながら、隠岐側の医師と診断及び治療の方針等について、その場で話し合いながら検討する。治療のため本土病院へ送る必要があると判断された患者様に関しては、防災ヘリ等で本土病院へ（緊急）搬送し、葉などで経過を見ても良いと診断されれば隠岐の病院で加療することになります。しかし、隠岐で治療する患者様も専門医の診断指導に基づいた本土の病院と変わらぬ治療を受けることが可能となりました。

このように、常に専門医がいなくても、当システムを使用することで専門医による診断を得ることができ、緊急患者様のみならず隠岐で対処できない疾患の患者（専門医にしか加療できない場合、治療機器がない場合等）のみ本土の専門病院へ搬送することになります。このことは、患者様自身及び家族の方の時間的、経済的（本土までの所要時間や交通宿泊費）、重複検査（同じ検査を本土病院で再び受ける）等の負担の軽減や、必



伝送操作中の高岡技師長

要最小限の搬送ですむという利点があります。また、緊急ではないが精査のため撮影したCT、MRI画像は、これまで写真を週に一度まとめて宅急便で本土病院に送って診断を得ていたため、診断結果が出るのに早く二週間かかっていました。しかし、現在はこのシステムを使用することにより、撮影の翌日には診断結果が出るようになっていきます。

隠岐島での医療的問題にはまだ改善される事項が多く残っていますが、隠岐島遠隔医療支援システムは、それを改善する一助となっています。



# 病棟バザー開催



たくさんの方に買って頂きました。

8月29日（火）に、1階エレベーター前ロビーにて精神科病棟によるバザーが開催されました。牛乳パックに和紙を貼付けて綺麗に作られたペン立てやカード入れ・クッション・雑巾など、患者様が一生懸命製作した作品が50円から300円程度の値段で売られていました。評価も上々で、外来患者様・お見舞いの方、職員等が思い思いの物品を購入されていました。精神科病棟より次回も計画しているとのこと、ぜひ参加されてみては…



## こんなことしています…



皆さん、もうお気付きのことと思いますが、10月2日より、各外来、受付窓口、薬局など病院内において患者様をお呼びする場合、「〇〇さま…」というふうに統一いたしました。

これは、患者様を尊重する気持ちを表す事と、聞いたときにやさしい感じがするという事、同時に、いろいろな業種でそのような流れになっていることではじめました。いかがですか？



## 臨時看護婦さん～随時募集中～

当院では、臨時で働いていただける看護婦さんを随時募集しております。詳しくは下記まで…

総務課庶務係 TEL08512-2-1356

## 皮膚科からのお知らせ

11月より皮膚科の診療時間を下記のように変更いたします。

◎診察時間 12:00～14:30まで  
(午後の診療のみ)

◎受付時間 8:00～11:00まで

お間違えのないようご注意ください。



—ご注意—

診察時間の都合上、受付を締切らせていただくことがありますのでご了承ください。

